



「キミも防災サバイバー！」を見て自分で取り組む防災について考える

～特別支援学校肢体不自由教育部門高等部の地歴科 地理総合での活用～

東京都立光明学園 川口 尚人

実践の概要とねらい 活用番組

単元名：「気象災害と防災」（教科書：帝国書院 高校生の地理総合）（高等部 2 年）

教科書の「3 節 気象災害と防災 2 気象災害と地域の取り組み」という単元で、NHK for School の「キミも防災サバイバー！」を使いました。本単元は気象災害を防ぐために、どのような取り組みが必要かをねらいに、集中豪雨や大雪に備えて、私たちはどのような対策をするべきか、新興住宅地や交通機関などへの影響に着目しながら考えるという内容です。そこで、教科書の資料だけでなく、具体的に課題を明らかにするための導入として NHK for School の「キミも防災サバイバー！」の活用を考えました。今回は『File11 台風の危機！（前編）』と『File12 台風の危機！（後編）』を取り上げることにしました。災害の映像は紙の教科書の写真よりも緊迫感が伝わってくるからです。

現在肢体不自由教育部門準ずる教育課程の高 2 の生徒は 1 名です。この授業での支援に関しては、肢体不自由教育部門と病弱教育部門でほとんど違いはありません。1 名の個別学習になる点が指導上の配慮すべき点です。

活用番組

「キミも防災サバイバー！」

<https://www.nhk.or.jp/school/sougou/survivor/>

活用した放送回

File11 台風の危機！（前編）

https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005180521_00000

File12 台風の危機！（後編）

https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005180522_00000

実践のポイント

★番組を教師とともに視聴したあとに話し合い、課題を決める

前時の授業では『File11 台風の危機！（前編）』で沖縄県での台風の被害について学習しました。それらをもとに、『File12 台風の危機！（後編）』と一緒に視聴し、住んでいる地域（学校周辺）ではどんな被害が起こる可能性があるか、どのように避難したらよいか、そのためにどのような備えをしたらよいかなどを教員と話し合い、自分が調べ進める課題を明確にしていきます。

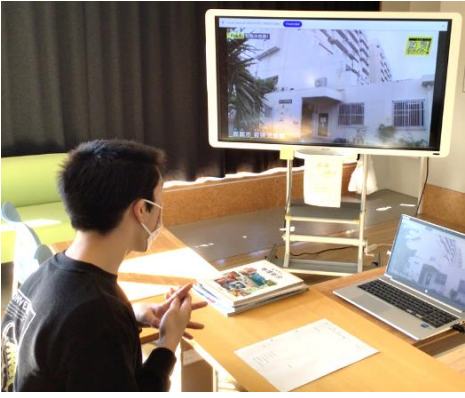
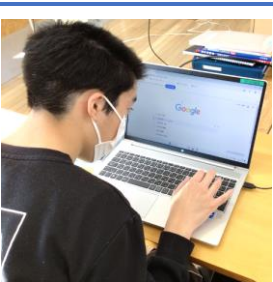
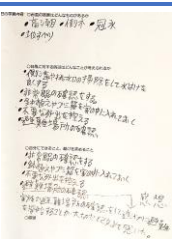
★個人端末を使って課題に沿って調べ学習を進める

台風の二次災害とその対策の中から自分が調べようと思う課題が決まったら個人端末を使って調べ学習を進めます。気になった情報はお気に入りの保存したりプリントアウトしたりして、情報を整理して必要なものを選べるように支援します。

★台風の被害を最小限にするための方策を考える

台風の二次災害とその対策の中から自分が調べたことを発表して、台風の被害を最小限にするためにはどういった対策や備えが必要か話し合います。そこから自分ができること・気を付けること（自助）、地域で連携して取り組むべきこと（共助）、地方公共団体・国に求めること（公助）をまとめます。最後にその中から今自分ができるところを取り出して発表します。

実践の流れ

導入	前回視聴した『File11 台風の危機！（前編）』を振り返り、今回のねらいを明確にする。 【台風の危機にどうしたら打ち勝つことができるだろうか】 NHK for School「キミも防災サバイバー！」『File12 台風の危機！（後編）』を提示、教員と一緒に視聴する。番組（教師と一緒に視聴） ・実際にはどんな被害が想定されるか ・どのように、どこに避難するか ・どのような備えが必要か ワークシートを使って、気になったことをメモする。	
展開	○番組から得られた情報を参考に自分事として必要な情報を探す。 ・調べたい情報を広く集める。調べる前に調べる項目を確認しておく。 高潮、川の氾濫、土砂崩れ、暴風、増水・浸水などの被害と対策・備え →自治体のHPからハザードマップ ・タブレット端末を使って知りたい情報を探す。 ・NHK for School「ドスルコスル」、「学ぼう BOSAI」などキーワードから検索して視聴できることを確認する。番組（調べ学習視聴） ・気になった web サイトはお気に入りに保存したり、プリンターで出力したりするよう、声かけをする。 ○調べてまとめたことを発表する。 ・調べたことを発表後、自助、共助、公助に分類する。 ・そこからわかったことを順番に沿ってまとめる。	 
まとめ	○台風が来た際の対応を、順を追って説明する。 ・どのような被害が想定されるか。（学校周辺・自宅周辺） ・どこに、どのように避難するか。 ・日ごろからどのような準備が必要か。 ○この授業で分かったことや感想をまとめる。	

実践を振り返って（成果と今後の展望）

1人のクラスだったので話し合い活動ができなかった代わりに、本人の実態に合わせて教員との会話を進めることで思考を深めることができました。映像から台風の脅威や被害状況などが見て取れ、真剣に取り組む雰囲気が出来上がりました。サバイバー候補生（出演者）が小学生なのが、高校生として今更質問しにくいことも番組内で答えてくれていて、自然と受け入れられた点もよかったです。台風の被害は住んでいる場所によって大きく変わってくるので、番組から発展させて自分が住んでいる地域にはどんな二次災害が予想されるか、その時自分はどうなことができるのかを自分事として再確認できたことが大きな成果です。また、高校生としては、共助・公助までを考えて、公助は地方公共団体まで要請するところまで行ければ完璧ですが、そういう公助が必要というところまで理解できればそれでよしとしました。特に肢体不自由教育部門高等部として、自助にしてもどこまで周りの人をお願いするのか、卒業後社会に出ていくのに際して必要なことなので、教科領域に限らず、教育活動全般を通じて指導しています。

今後は他の回も順次行えればと思っています。また、肢病併置校なので、病弱教育部門の高等部と合同授業で話し合い活動ができる機会を作りたいと思います。